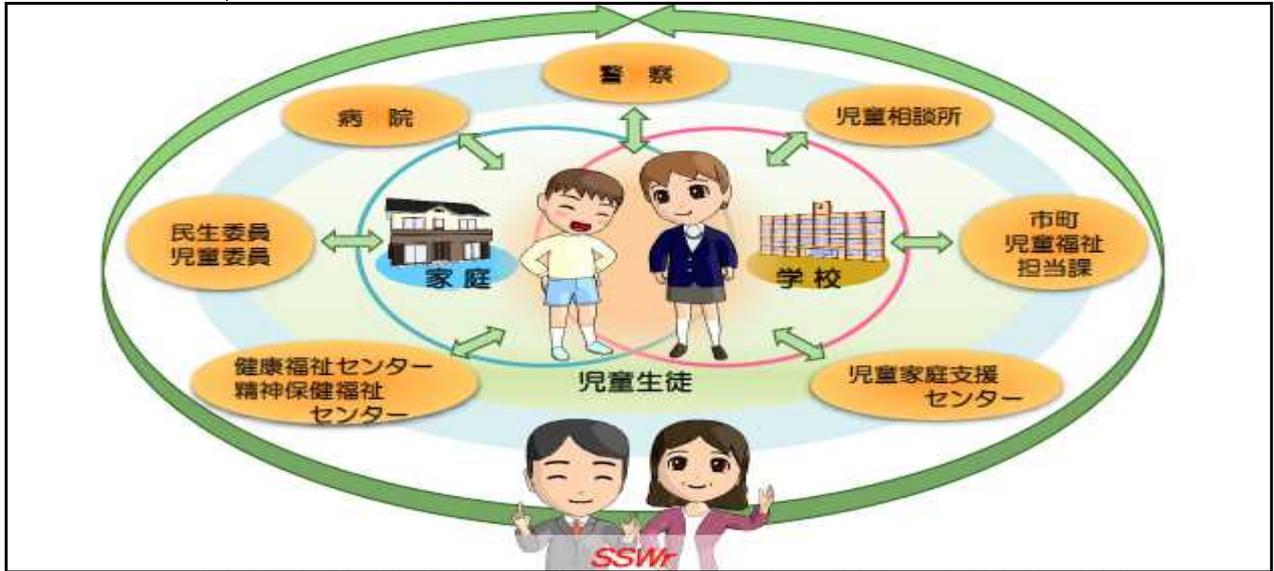


Q3 : スクールソーシャルワーカーの役割は何ですか。また、どんな事案に関わることができますか。

はじめに

スクールソーシャルワーカー（以下SSWR）とは、社会福祉の専門的な知識、技術を活用し、問題を抱えた児童生徒を取り巻く環境に働きかけ、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、児童生徒の悩みや抱えている問題の解決に向けて支援する専門家です。現在、塩谷南那須教育事務所には2名のSSWRが配置されています。



対応が考えられる事例

「児童生徒がおかれている環境が要因となって、問題行動等が起こっていると考えられる」、「校内における支援だけでは解決が困難である」、「どんな関係機関に連絡し、連携したらいいかわからない」などの場合は、SSWRと連携した対応を検討するとよいでしょう。

- 具体的な事例**
- ・家庭に要因がある不登校（引きこもり）事例
 - ・貧困で困っている事例
 - ・家庭内暴力を繰り返す事例
 - ・不登校や暴力行為等の複合的な事例
 - ・心の安定が必要な保護者対応の事例

要請の流れ

校内での協議においてSSWRを要請しようとなった場合、まずは、市町教育委員会に相談してください。事案によって市町教育委員会と教育事務所が連携を取って、SSWRの支援を開始します。



校内組織体制の充実

SSWRの支援が始まってからでも、SSWRに対応を全て任せるということではありません。あくまでもSSWRは、学校の指導方針に従っての支援をしていきます。児童生徒への指導や支援の中心は、学校にあります。そのためにも、問題解決に当たる校内チームのメンバーや、SSWRと連絡を取る窓口は誰なのかなどの、校内組織をしっかりと整えておく必要があります。

おわりに

現在、学校だけでは解決困難な児童・生徒指導に関する問題が増えています。SSWRを有効活用し、関係機関と連携して諸問題に対応していきましょう。県教育委員会では、平成29年3月に「スクールソーシャルワーカー活用ガイドブック」を作成しました。SSWR活用についての事例も詳しく掲載されていますので、ぜひ参考にしてください。

